

【正誤表】『公認心理師試験対策総ざらい 実力はかる5肢選択問題360』

► 9頁 A1 ③

【誤】約1日で50%程度～ 【正】1日で3分の2～

► 13頁 A7 ⑤

【誤】10の「中核的能力 board ability」、33の「細分化された能力 narrow ability」～

【正】10の「中核的能力 **broad** ability」、約70の「細分化された能力 narrow ability」～

► 21頁 A19 ②

【誤】回避学習で説明される。 【正】逃避学習で説明される。

► 167頁 A225 ③

【誤】Aは患者から得られた主觀的情報を記載するものであり、具体的には、相談内容や要望、主訴、体調などの自覚症状、生活歴などを記載する。

【正】Aは主觀的・客觀的情報をもとにした生じている問題に対する治療者の分析・評価・見立て(Assessment)である。

► 173頁 A229 ③

【誤】登録を受けた者は、登録取消(法第32条2号)及び30万円以下の罰金に処せられる(法第49条)。

【正】登録を受けた者は、登録取消(法第32条2号)に処せられる。

► 177頁 A235 ③

【誤】医療計画制度は、各都道府県で策定するものであり、自治体ではない(法第30条4～12)。

【正】自治体とは都道府県や市区町村のことを指すが、医療計画は各都道府県が策定するものであり、市区町村は策定しない。

► 203頁 A274 ③

【誤】どの程度支援が必要かという障害程度区分が～

【正】どの程度支援が必要かという障害**支援**区分が～

► 224／225頁 Q299／A299 ④

【誤】地域生活支援センター 【正】地域生活**定着**支援センター

► 233頁 A310

【誤】解答④ 【正】解答②または④

【誤】②男女雇用機会均等法ではなく、育児・介護休業法で規定されている。

【正】②男女雇用機会均等法で**義務づけられており**、また育児・介護休業法でも同様に**義務づけられている**。

► 283頁 A359 ②

【誤】家庭裁判所での審判には付されない。

【正】家庭裁判所での審判には付されるが、原則その審判で逆送が決定されるため、これだけでは不十分である。